



南あわじ市

議会だより

第86号

令和7年7月31日発行

南あわじ市滝川記念美術館 玉青館では、
寄託された銅鐸2点のお披露目展を
7月19日から9月7日まで開催しています！



慶野銅鐸



慶野中の御堂銅鐸・舌



南あわじ市議会
ホームページ



<https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/site/gikai/>

マチイロ



南あわじ市議会
YouTube



玉青館では夏休みに
ワークショップをやっているよ！

市民の皆さんと活発な意見交換ができました！

令和7年5月9日に市地区公民館で開催しました。
総務文教常任委員長、産業厚生常任委員長が南あわじ市の事業について報告した後、
市民の方々と意見交換を行いました。

こんな意見がありました

公共交通機関

年配の方の中には、らん・らんバスの停留所まで行くのが困難な方などがある。何か解決策はないか。

福祉

身体障がい者がイベントなどに参加したとき、トイレの設備や数が問題となった。市には積極的にバリアフリー化に取り組んでいただきたい。

農業

農家が農業で生活できるように所得保障について考えていただきたい。また、若い移住者の方が農業に参入できるような制度を考えていただきたい。

保育

看護師などの仕事で、深夜や早朝に仕事をする人がいるのではないかと。保育所に休日や深夜にも預けることはできないのか。

教育

子どもの数が減り、部活動の存続ができなくなっている上に、中学校の先生が部活動の指導を手放し、部活動をしないような流れになってきている。子どもができるだけ減らないように子育て支援をするなど、何か対策はないか。

健康

化学物質過敏症について知らない方が多いので、市役所や病院、市のホームページなどでこの情報を掲載してほしい。



いただいたご意見は、
今後の議会活動に活かしていきます！

議会報告会でインタビュー

いい報告会だった。未永く続けてほしい。
今後はグループワークなど参加者全員が発言できるように工夫してほしい。



本市は、音楽によるまちづくりをしている。自分のふるさとを称えるために、市が制定する歌を作してほしい。



人それぞれの思いや関心事が聞けてよかった。多くの人が出会い、問題点の解消につながっていけばいいと思った。



議員との距離が近く感じられてよかった。若い人の参加が少なかった。夜の運転が不安な人のために昼の時間帯に開催してはどうだろうか。



初めての参加だったが、議員が身近に感じられてよかった。地元の丸山バイパスの整備について話せたことや他の地区の課題を聞くことができてよかった。



今後も議会報告会を開催しますので、ぜひご参加ください！

他にも、たくさんのご意見やご質問をいただきました。
もっと詳しく知りたい方は、QRコードを読み取り、南あわじ市ホームページ「第16回議会報告会の結果」をご覧ください。そのときの質疑応答を掲載しています。



議案の審査で こんな議論をしました（会期：5月30日～6月24日）

令和7年度一般会計補正予算（第1号）

■議案内容 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ3億7,427万6,000円を追加。

▶高速バス停整備事業委託料 6,000万円の追加

■主な質疑

問 委託料の内容は。

答 大鳴門橋周辺のオーバートーリズム対策として、駐車場の設置以外に公共交通の整備も行うこととしており、本四高速の淡路島南サービスエリアに高速バス停を整備するための実施設計費用である。

主な設計内容は、上り・下りのバス停整備、地下道改修、バリアフリー対策としてエレベーターの設置などを考えている。



今後、本四高速と協定を締結して取り組んでいく。本四高速から提示された金額に基づき予算計上をしている。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

物品売買契約の締結について （消防ポンプ自動車）

■議案内容

株式会社モリタ関西支店と1億303万7,000円で購入契約。

■主な質疑

問 ディーゼルエンジンのマニュアル車ではなく、ガソリンエンジンのオートマチック車を導入した理由は。

答 近年、オートマチック車限定免許の取得が多いこと。また、平成29年3月12日の道路交通法改正後に普通免許を取得した団員は3.5トン以上の車両を運転することができないことを考慮した結果、導入可能な車両が3.5トン未満のガソリン車であった。なお、

3.5トン以上の消防車を運転できない団員に対し、中型車、大型車の免許を取得する際には補助金が支給されることについて、消防団幹部会を通じ各分団に周知を行っている。

■議決結果

賛成多数で原案可決。



三原庁舎跡地公園整備工事請負契約 の締結について

■議案内容

株式会社坂本建設と2億9,194万円で契約。

■主な質疑

問 公園内にトイレを整備しない理由は。

答 屋外トイレについては、衛生面や防犯面で課題があり、現時点においては隣接する市地区公民館や市立図書館三原分館のトイレを利用することを想定している。

しかし、都市公園におけるトイレの重要性については認識しており、今後、公園を利用していく中で利用者の声を聞きながら、トイレの設置について、検討していく。

問 駐車場の計画について、公園の周辺は交通量が多いため、駐車場の出入口を市小学校側だけでなく、市地区公民館側も必要ではないか。

答 道路管理者や市地区公民館などの関係者と協議し、事故が発生しないような配置を計画した。出入口を複数にすると出会い頭の事故が発生する可能性が高まるため、駐車場の出入口は1つにした。

自動車が安全にすれ違うことができるように、市道市76号線を7メートルに拡幅する予定であり、大型バスも乗り入れることができるようになる。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

産業厚生常任委員会 附帯決議（※）を付すことに決定

今回の三原庁舎跡地公園整備工事については、芝生広場、複合遊具、健康遊具に加え、災害に備えたかまどベンチを設置することになっており、幼児から児童・生徒及び高齢者など幅広い方々の利用が考えられる。

トイレについては、周辺の市地区公民館、市立図書館三原分館の利用が可能とのことだが、時間外、休日等利用ができないことが懸念される。したがって公園内へのトイレの設置を早急に検討し、対応することを要望した。

※…委員会で議案を可決するにあたって、委員会の希望意見として付けたもの。法的な拘束力がなく、政治的に尊重されるべきものとされている。



人事案件 〔敬称略〕

■人権擁護委員候補者の推薦

適任 関口 貞子 せきぐち ていこ
 適任 木田 徹 きだ とおる
 任期 令和7年10月1日～令和10年9月30日

議決結果一覧

■全議員賛成の議案

提出者	議 案 名	議決結果
市長	諮問第3号 人権擁護委員候補者の推薦	適任
市長	令和7年度一般会計補正予算（第1号）	原案可決
市長	令和7年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
市長	税条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	福祉医療費助成条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	物品売買契約の締結（消防ポンプ自動車）	原案可決
市長	三原庁舎跡地公園整備工事請負契約の締結	原案可決

■賛否の分かれた議案

議長（久米啓右）は表決に加わらない。（○は賛成、×は反対）

提出者	議 案 名	議決結果	印部	土井	阿部	谷口	中村	原口	仲野	蛭子	大江	長船	廣内	北条	吉田	熊田	木場	長江	蔭山
			久信	巧	守	博文	三雄	育大	加枝	智彦	幸司	吉博	孝次	志津子	良子	司	徹	和代	順子
市長	諮問第4号 人権擁護委員候補者の推薦	適任	×	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○

議会YouTubeチャンネルでライブ配信したものを「過去のライブ配信」として公開しています。

- 右のQRコードをスマートフォンやタブレット等で読み取ると視聴できます。
- 「市ホームページ」からの閲覧方法
 「南あわじ市議会」→「録画放送」
 →「YouTubeで「過去のライブ配信」が視聴できます」

※注意事項
 配信されている映像・音声は、
 南あわじ市議会の公式記録ではありません。
 動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



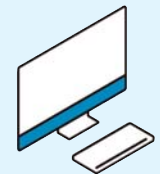
市政を問う

～より良い南あわじ市へ～

6月11日、12日、13日、16日の
 4日間にわたって、議員17人が
 一般質問を行いました。

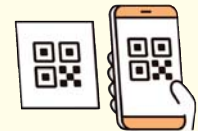
HP 閲覧方法

- 「市のホームページ」
- 「南あわじ市議会」
- 「録画放送」
- 「一般質問の録画配信」



QRコードからアクセス！

スマートフォンやタブレット等で質問議員のQRコードを
 読み取ると、さんさんネットで放送した「一般質問」の
 録画映像をご覧いただけます。
 ※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



部活動はしっかり分かりやすく説明し
 スムーズな移行を！

誠道クラブ 阿部 守 議員



今年度末に沼島よつば保育園
 移設工事完了予定！

問 移設工事の入札が不調に
 なった原因は。

答 物価高騰、人手不足、輸
 送面の課題である。

問 今後のタイムスケジュール
 は。

答 設計見直しをして9月議
 会に補正の提案をし、年度末
 完成を目指す。

問 当初計画通りの施設が妥
 協なくできるのか。

答 市としても作りあげたい。

部活動の地域展開の送迎に
 係る支援は国から出る方向！

問 部活動の地域展開とは。

答 学校内の部活動を地域で
 支え、活動を豊かで幅広いも
 のにし、地域クラブのあり方
 をより的確に表現するため。

問 現在の地域展開に向けた
 状況は。

答 中学生が活動できる団体
 の整備や指導者の確保、参加
 活動費、送迎、活動場所など
 の調整・課題はあるが、ミナ・
 カツ推進計画をまとめ、説明
 している。

問 現在、実際に中学生を受
 け入れて活動している団体の
 活動場所については、優先す
 る等の優遇措置は考えられる
 か。

答 調整は必要だと認識して
 いる。今後検討する。

問 文部科学省が保護者負担
 に関して金額の目安を示す意
 向を明らかにしたが。

答 送迎に係る支援は国の支
 援の動向を注視する。



▲沼島よつば保育園移設先



町ぐるみ健診について

大志と市民の会 蛭子 智彦 議員



問 南あわじ市の健診受診率は。

答 令和5年度は45.7%で県下一位、令和6年度は推計で45.4%。

問 1番というのは気持ちのいいこと。健診のデータを見て健康寿命を延ばす課題は明確か。

答 ガンの早期発見、生活習慣病の予防、骨折予防などの効果がある。

問 健康寿命日本一を目指してほしい。

慶野松原の保存と活用について

問 キャンプ、バーベキューについて文化庁に問い合わせると南あわじ市の判断で進めてほしいとのこと。ルール作りができていない。

答 以前から話し合ってきたが、できていない。今後しっかりルール作りをしたい。

問 早く作らないと観光客ががっかりして帰る。その人達はもう来ない。最低に落ちている。

答 全体的に状況をふまえて

慶野松原をしっかりと活性化させていければなと思っている。

問 交通公園の遊具の改修をどうするか。

答 都市公園化についての要望もあり、都市公園化することで財政支援もあり、計画的な点検、修繕、更新ができる。都市公園化のための調整、諸条件の整理が必要である。



▲慶野松原児童公園（交通公園）



漁業振興について

大志と市民の会 長船 吉博 議員



問 東南アジア9カ国で続けるマングローブ植林は二酸化炭素を吸収し、減災になっている。小さな一歩から始めては？

答 政府がブルーカーボンの拡大に本腰を入れ、市としても藻場拡大に取り組む。

問 香川大学が潮流を活用した形状の藻場造成構造物を考案し、速やかに藻場を形成できる技術を確認した。ご指導を仰いでみては？

答 機会があれば色々なお話を聞いてみたい。

問 2022年に養殖生産量が天然漁獲量を初めて抜いた。南あわじ市では牡蠣・アワビ・サザエ・ウニの養殖はできないのか？

答 水温管理が大変である。
防災対策について

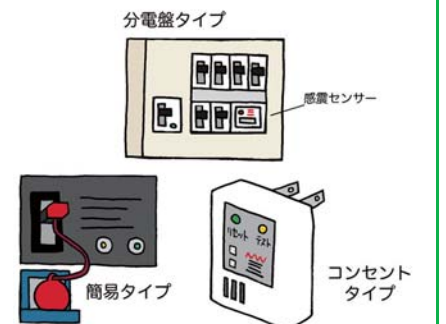
問 政府の作業部会が新たな被害想定を発表した。危機管理部の見解は？

答 被害想定の見直しを注視し、災害に強いまちづくりに取り組む。

問 地震の火災抑制に感震ブレーカーを付けると火災が半

減される。補助金を出して感震ブレーカー設置対策を！

答 東日本大震災や能登半島地震で電気火災による大規模火災が発生した。補助制度導入を検討する。



▲感震ブレーカー



観光振興について

誠道クラブ 谷口 博文 議員



問 灘黒岩水仙郷の整備の財源は？

答 全体12億8,610万5,000円の内訳として、ひょうご地域創生交付金、過疎対策事業債、辺地対策事業債などで、市の財源の支出は482万7,000円である。

問 年間のランニングコストは？

答 年間収支で、1,500万円ぐらいのマイナスで運営していく。

問 購入した神戸大学大学院の実習施設跡地の今後の事業

計画は。

答 2027年5月に行うワールドマスターズゲームズまでは、現状のまま使用し、その後、宿泊施設、周辺地域の利便性施設に向けて検討する。

問 淡路島南IC、伊毘地区の駐車場整備に約14億円の総事業費で整備する目的は？

答 大鳴門橋自転車道は、令和10年4月に開通を目指している。今まで鳴門岬周辺には、年間75万人の人が訪れ、度々渋滞問題で、迷惑を掛けている。交通対策として、駐車場

整備、高速バス等を連携し交通体系を築く計画である。

問 年間数日の渋滞緩和のため、これだけの投資をし費用対効果はあるのか？平時の利用もできるような計画も検討すべきでないか。

答 提案を受け、いろいろな意見を参考にしながら、検討する。

その他、公園整備について質問した。



▲灘黒岩水仙郷



被災者を守る取組を

南あわじ市公明党 熊田 司 議員



問 「災害ケースマネジメント」への取組は。

答 災害ケースマネジメントとは、被災者の被災状況や生活上の課題に対し、専門的な知識を持つ関係者と連携し、被災者の自立、生活再建が進むようマネジメントする取組を言う。行政、社会福祉協議会、ケアマネジャー、相談員が平時から顔の見える関係を築くことで、きめ細やかな支援につなげていく。

放置竹林対策として、竹炭化事業に取り組んでは

問 放置竹林対策として、竹炭に取り組んでいる地域もある。先進地の状況を研究しながら、竹炭化に取り組む考えはあるか。

答 竹炭には有効性があるので、今後研究成果や他の自治体での取組、導入事例を注視・研究していきたい。

子どもたちに遊び場を

問 熱中症などを気にせず、小学校就学前の子どもたちが遊べる場所が必要と考えるが、

市の考えと取組は。

答 本市においては子育ての喜びが見えるまちの実現施策の1つとして、子どもたちが年間を通して快適に遊べる屋内での遊び場施設の設置検討を進めている。旧倭文中学校を子ども屋内遊び場施設として利用できないか検討を進めている。



▲旧倭文中学校



いじめの防止解消について

創世クラブ 木場 徹 議員



問 本市の認知件数は。

答 生徒数1,000人当り65件で全国平均57件を上回っている。

問 対応、取組は。

答 いじめ対応チームで早期に対応している。

問 本市の暴力行為の状況は。

答 件数は21.4件で全国平均の11件を上回っている。

問 荒れている学校は。

答 授業が成立しない学校はない。

中学校部活動の地域移行の課題について

問 課題の把握と対応は。

答 指導者の資格取得への補助、送迎対策、コーディネーターの配置、放課後の生徒指導の取組を地域と連携し実施する。

問 部活の現顧問の意見集約は。

答 近日中にアンケートを取る。

海業の推進と課題について

問 弁天島の橋の架け替えは。

答 海業の着手時期に併せて予算措置する。

問 海業で丸山バイパスの整備が必要だが進展は。

答 海業の進展を上手く捉えて進めたい。

辰美中学校跡地の利活用計画について

問 計画の方向性は。

答 白紙。

問 一案として野菜の加工場の団地に造成分譲しては。

答 地元の人と相談しながら検討したい。



▲魚彩館



生活を支える支援策の充実を

日本共産党 吉田 良子 議員



問 物価高騰対策とし非課税世帯、子育て支援にプレミアム付商品券の支給はどうか。

答 国がやっているところにさらに市が割って入るということではない。

外出支援サービスの拡充を

問 らん・らんバスの停留所から自宅までの課題の解決策は。

答 福祉部門と協議をするが、解決策は現在見いだせていない状況である。

問 高齢者、障がい者への外出支援サービスの対象者を要

支援、要介護1・2・3にも広げる。また、公民館活動などに広げてはどうか。

答 財源等難しい現状。

問 県立子ども病院への通院のための交通費助成は。

答 聞き取りを実施し検討。

今後の小中学校の在り方は

答 検討方針を教育委員会で諮り完成予定。特に人数の少ない学校を先行すると思う。

問 25人学級の考えは。

答 希望としてのかたち。

淡路三原高校の存続は

問 県は、一つの町、市の学校は、しっかり守っていく方針だがどうか。

答 その方向に向けて頑張りたい。

他に、補聴器助成について質問した。



▲淡路三原高等学校



兵庫県で沼島小中学校のみ、離島留学で地域活性化を！

つなぐ 蔭山 順子 議員



問 離島留学制度の持続性には受け入れた側の支援や充実が不可欠、単なる教育の場を提供するだけでなく、南あわじ市の地域活性化や関係人口を増やす一つのルートになると思うがいかがが？

答 南あわじ市離島留学推進事業プロジェクトチームを立ち上げて、それぞれの立場で沼島を盛り上げていく活動をしている。住民の捉え方としては、活気が出たと非常に歓迎している。

問 離島留学の取組について

市長の考えは。

答 沼島の学校を1つのモデルとして形づくっていけば、南あわじ市全体、教育全体にとってもメリットだと思う。盛り上がっていくように取り組んでいきたい。

海業の成功の秘訣は人材の投入だと思うがいかがが

答 おっしゃるとおり。引っ張っていく人材、地域全体で考えて、それを行政がどう支援していくかの構図ができていくということが一番重要かと思う。

阿万海岸海水浴について

問 水門工事中、閉鎖をしていた周辺整備は「海びらき」に間に合うのか。

答 要望のところは直していきたい。

他に、高齢者の移動支援、イングランドの丘の整備について質問した。



▲離島留学生在が作成したチラシ



明石海峡大橋・大鳴門橋の通行料の引下げ、無料化に向け、本市の取組について

大志と市民の会 大江 幸司 議員



問 本市の両大橋の通行料の現状をどのように認識しているのか。

答 通常的高速道路よりも料金が割高になっている。

問 住民の生活や企業活動に与えている影響について調査・分析したのか。

答 本市独自で、何かしたことはない。

問 本市の立地条件がこの少子化などに直結していると思う。また、企業誘致にしても、やはり高速料金が高いと思うが、市長の思いは。

答 1つの要因になってきたことは事実だろう。

問 通行料を無料などにしないと、本市はどんどん衰退していくような気がするが、どう思われるか。



▲大鳴門橋

答 国道として、生活道として考えて無料あるいは料金を下げてほしいというような主張を淡路島の市長会でも、従来からずっとやってきた。

問 次の段階的な引下げや住民向け定期料金制度、上限設定など現実的に選択肢を含む具体的な提案を検討する意向はあるのか。

答 国へ求める。



障がい者に対する支援

創世クラブ 長江 和代 議員



問 令和6年障害者計画ができ、給付金対象者は重症者のみになり、多くの人が資格をなくした。この変更で何が障がい者のためになったのか？

答 福祉連携推進会議などを設置し、水道基本使用料などの助成、ゴミ出し支援事業などしている。健全で持続可能な財政運営を行うため制度の縮小を判断した。

農福連携

問 農林水産省が進めている農福連携は障害者等が農業分野で活躍することで自信や生

きがいを持って社会参画を実現していく取り組み。担い手不足や高齢化が進む農業分野の新たな働き手の確保になる可能性がある。当市ではどうなっているか？

答 2つの事業所が農福連携に取り組んでいる。

農業支援

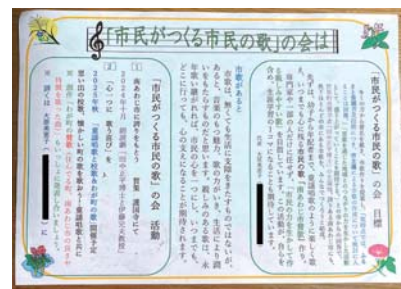
問 大規模農業、認定農業者や認定新規就農者への支援は多い。中小農家への支援は？

答 環境保全型農業直接支払交付金制度がある。これは有機農業も対象となる。

市歌

問 兵庫県の多くの市に市歌がある。市歌の素晴らしさを伝えたいと活動している人がいる。市歌を作ってはどうか？

答 ふるさと音頭普及段階で、市の主導による市歌の作成は難しいが、市民活動の中で歌い継がれるような市民主導の動きを期待したい。



▲「市民がつくる市民の歌」の会のチラシ



本市の農業振興について

市民連合クラブ 土井 巧 議員



問 減反政策はあるのか。

答 減反という名前はもうないが、水田の直接支払交付金という交付金事業がある。

問 本市の稲作の状況は。

答 5月の計画段階では昨年度より約80haの増加。

問 農業従事者の現状は。

答 全国的に高齢化が進んでいる。基礎的農業従事者の平均年齢は67歳を超え、65歳以上は約7割、49歳以下の若年層は1割であり、年齢層の偏りが顕著。本市でも同様の状況。

問 本市の人手不足対策は。

答 次の3点。新たな担い手として新規就農者の確保。農業法人の経営力強化として雇用就農者の促進。農作業を請け負う農業支援サービス事業体の確保・育成。

問 循環型農業が高く評価され、日本農業遺産に選ばれた。本市の農業を守ってほしい。

カリキュラムオーバーロードとは

答 学ぶ内容が多過ぎて学習者が負担に感じる状態。教師

にとっても膨大な事業内容となり負担になる状態。

問 不登校の原因では。

答 不登校との因果関係は明確でない。学ぶ楽しさを感じられる授業づくりが喫緊の課題。校務改革を進めていく。

その他、道路整備と交通安全対策について質問した。



▲稲作と玉葱の循環型農業



化学物質過敏症(CS)について

ゆづるはクラブ 原口 育大 議員



問 市民への情報提供は。

答 庁舎をはじめ市民交流センターや図書館、学校施設等へのポスター掲示を進めている。市のホームページへの掲載と公式LINE等のSNSでの発信、さんさんネットの放送も始めた。広報紙への掲載やデジタルサイネージの活用も予定している。

問 勉強会の必要性は。

答 養護教諭を中心に、学校医・薬剤師とも連携しながら、児童生徒の安全・安心に学べる環境を維持するように努める。

問 避難所や公共施設での配慮は。

答 国立淡路青少年交流の家と福祉避難所としての利用に関する協定を締結しており、特に配慮が必要な方々を受入れできる環境は構築している。

生活排水処理について

問 市民の浄化槽の保守点検、維持管理に係る経費は。

答 保守点検、清掃、法定検査、ブローワーの電気代など合計で約4～5万円。

問 一般会計から下水道会計への基準外繰入は市民1人当

たりいくらか。

答 令和5年度は6,142円。

問 兵庫県下でも、行政が浄化槽管理組合や使用者、自治会等へ補助金を支給している市町がある、検討していただきたい。

答 今後の検討課題の一つであると認識している。



▲CS啓発ポスター



介護保険について

市民連合クラブ 印部 久信 議員



問 介護保険の問題点について。

答 75歳以上の後期高齢者が増え、重度の介護が必要。財政負担が増加し、介護保険料が上昇。介護人材の不足。介護サービスの地域間格差。

問 介護保険料の推移について。

答 現在5,500円。県下の平均は6,060円、洲本市は5,600円、淡路市は5,950円。県下41自治体の7番目に低い。3年ごとに改定され、合併時の3,900円から改正ごとに上昇。

問 特別養護老人ホームの施設の数と収容人数は。

答 現在、介護認定者3,200人。要介護3以上が入所できる施設市内9施設、定員460人。(広域型6施設、定員384人。地域密着型3施設、76人。)

問 訪問介護事業数、ヘルパー人員数について。

答 4事業所、ヘルパー40人程度、3分の2が60歳以上の高齢者にて大きな課題。

問 給付費の割合は。

答 居宅サービス23億円。施設サービス21億円。住宅改修、

高額介護サービス、福祉用具の購入等で1億円。地域支援事業(介護予防、認知症予防(例いきいき百歳体操))3億円。

問 住宅改修について。

答 住宅改修226件、給付費1,600万円。

問 高齢者が安心して暮らせるまちづくりを目指してほしい。





バランスのよい豊かな街づくりを

絆 北条志津子 議員



問 耐震化されていない市営住宅は今後どのようにするのか。

答 新たな入居を停止。入居者が退去した棟から解体撤去する。

問 オニオンタワーの今後は。

答 撤去後は占用の廃止届を県に提出し、原形復旧となる。

問 旧倭文中学校、旧丸山小学校の利活用は。

答 旧倭文中学校は屋内遊び場施設として、旧丸山小学校は宿泊施設、賃貸の物件、ミニスーパーなどの予定。

八木地区公民館の建直しは

答 50年経過。本館部分で大規模改修を実施していない中では一番古い。改修工事を実施していきたい。

問 個別避難計画はどのように進めているのか。

答 要望のあった地元に入って作成する。市内7地区、89人が作成をしている。

問 上八木交差点からオニオンロードの交差点までの中央線、路肩線が消えているが。

答 経過観察しながら対応する。

問 広田久次米橋から翠鳳第一病院間の中央線、路肩線、久次米橋と翠鳳第一病院前の交差点の安全対策は。

答 除川橋の修繕工事に合わせて検討。

問 老朽化した八木立石、鳥井の自転車置場の整備状況は。

答 減築、修繕、放置自転車の処分等は関係部署と連携し対応する。



▲八木鳥井自転車置き場



沼島地域の課題、現状と今後の取組について

ゆづるはクラブ 中村三千雄 議員



問 物資輸送は住民を支える根幹である。その後の進捗状況は。

答 地域及び輸送を担ってくれる事業者と将来的に安定、持続できる方策を考え、安心して暮らせる持続可能な物資の輸送を進めていきたいと思っている。

問 空き家の方策をどのように進めようとしているのか。

答 現在、116戸の空き家があり、まだ増えている。

地域の独特な課題があるので、全庁的な対応をしたいと思っている。

問 医療、診察の課題について、どう考えているのか。

答 医療従事者を確保しながら、淡路医療センターと連携を進めていきたいと思っている。

問 高齢者福祉施設を設置すべきではないのか。



▲沼島

答 現在さまざまな施策を行っている。課題解決に向けて、具体策をともに考えていきたい。

問 市のチャレンジ事業「沼島100年計画～SDGs実現委員会～」が発足し、活動しているが、その支援策は。

答 その活動を一つ一つ積み上げていく中で、行政と相まって進められたらと思っている。



空き家対策について

絆 廣内 孝次 議員



問 空き家の総数は。

答 1,480戸。

問 第2次南あわじ市空家等対策計画では特定空家の認定数は46戸、実態調査では倒壊の可能性があるなど現状のままの利用は不可能なのが347戸ある。

南あわじ市空家等対策審議会を開催して認定することを要望する。特定空家や管理不全空家に認定されると、住宅用地特例（令和5年改正の固定資産税の改正内容：人が居住するための家屋の敷地とし

て利用される土地が200㎡以下の小規模住宅用地は6分の1、200㎡を超える一般住宅用地は3分の1に減額される）が適用されなくなる。

バリアフリー法の変更について

問 変更された内容は。

答 車椅子用の便房が各階ごとに1カ所以上の設置、車椅子使用者専用の駐車施設を一定数以上の設置、劇場の座席に基準が新たに創設された。

大榎列古津路線と古長田線の接続について

問 地元説明会は。

答 榎列小学校前の道を西へ延ばし大榎列古津路線に接続するルート案が最も優れていることを説明したが合意には至っていない。合意できなければ国の補助事業で期間もあり事業休止せざるを得ない。



▲榎列小学校角のT字路



小児科医療について

志 仲野 加枝 議員



問 近い将来、南あわじ市から小児科医院がなくなるのではと危惧している。小児科医院がないことは子育て環境に良くない。小児科医院の充実にもっと積極的な施策が必要でないか。

答 医師会と話をし、新設や承継などの可能性がある場合、どのような支援をすればうまく合理的なのか相談していこうと投げかけはしている。

中学校部活動の地域展開について

問 部活動が地域展開されるのだから、誰もが参加しやすい環境を作ることが大切である。

答 家庭の経済状況が生徒の体験格差にならないよう対策を検討している。

問 様々な課題があるが、学ぶ楽しさ日本一基金などを活用して大きく支援していただき、誰もが参加しやすいミナ・カツを目指してほしい。

オニオンロードの安全対策について

問 オニオンロードはスピードが出ている車が多く危険である。通学路と交差するところなどは、安全対策として看板をさらに設置してはどうか。

答 危険な箇所については、関係機関と協議しながら安全対策を実施していきたい。

他に、不登校対策、外出支援サービスの拡充、通学者交通費の助成の拡充、民泊トラブルへの対応について質問した。



議案の審査で こんな議論をしました（会期：5月7日～9日）

財産の取得について

■議案内容

土地所有者 5 名、建物所有者 仲野興産株式会社と7,662万5,209円で契約。

■主な質疑

問 駐車場の収容台数300台の根拠は。

答 将来の交通需要について算出した大鳴門橋周辺地域オーバーツーリズム対策基本計画に基づいている。過去の実績値及び繁忙期、準繁忙期の1日当たりや時間ごとの出入りなどの検討の結果現有の駐車台数564台を勘案し算出した結果である。

問 不法投棄された墓石の処分は。

答 不法投棄者はすでに亡くなっており、土地の所有者が処分することになる。今後、購入金額から処分費約3,000万円を差し引いて、

所有者に支払う。処分方法は所管する淡路県民局に指導を仰ぎながら協議を進める。

問 繁忙期以外の平時の有効活用方法は。

答 大鳴門橋通行止め時のトラックの待機場所やレクリエーション施設として活用できないかなど今後検討していく。単なる駐車場整備ではなく、様々な主体が連携して取り組んでいる大きなプロジェクトであるので、夢のある利活用についても検討したい。



■議決結果

賛成多数で原案可決。

議決結果一覧

■全議員賛成の議案

提出者	議案名	議決結果
市長	税条例の一部を改正する条例制定の専決処分	承認
市長	財産の取得	原案可決

■賛否の分かれた議案

議長（久米啓右）は表決に加わらない。（○は賛成、×は反対）

提出者	議案名	議決結果	印部	土井	阿部	谷口	中村	原口	仲野	蛭子	大江	長船	廣内	北条	吉田	熊田	木場	長江	蔭山
			久信	巧	守	博文	三雄	育大	加枝	智彦	幸司	吉博	孝次	津子	良子	司	徹	和代	順子
市長	国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の専決処分	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

一部事務組合などの議会報告

南あわじ市・洲本市小中学校組合

▼第2回臨時会〈4月8日〉

監査委員に藤井貴之氏（南あわじ市）を選任した。
教育委員に青木京氏（南あわじ市）を任命した。

令和6年度 政務活動費実績報告

▶市民連合クラブ、大志と市民の会、誠道クラブ、絆、日本共産党による合同調査

日本国際博覧会協会



富山県砺波市



岐阜県白川村



大阪・関西万博開催に向けて現状や課題、学校部活動の地域移行、小中一貫教育の取組について調査を行った。（令和6年11月11日～13日）

▶創世クラブ、大志と市民の会、ゆづらはクラブ、南あわじ市公明党、つなぐによる合同調査

福井県高浜町



滋賀県北部流域下水道事業所



まちづくりと海業への取組、高島浄化センターコンポスト化事業について調査を行った。（令和7年1月21日～22日）

政務活動費って何？

議会の活性化と政策立案能力を充実させるため、議員の調査研究などの活動に必要な費用を交付しています。

南あわじ市では、議員1人当たり年間15万円（1カ月当たり12,500円）を交付しています。

詳しくは、市ホームページに掲載しています。



令和6年度 政務活動費収支状況一覧表

（単位：円）

会派名 （人数）	交付額	執行額									返納額
		調査研究費	研修費	広報広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	事務費	計	
創世クラブ（3人）	450,000	286,413	24,000	30,000	0	0	0	0	94,513	434,926	15,074
大志と市民の会（3人）	450,000	433,620	9,000	0	0	0	0	0	31,789	474,409	0
誠道クラブ（2人）	300,000	111,178	9,000	0	0	0	0	0	0	120,178	179,822
ゆづらはクラブ（2人）	300,000	190,942	26,493	55,153	0	0	0	1,795	26,454	300,837	0
絆（2人）	300,000	218,640	6,000	0	0	0	0	0	62,737	287,377	12,623
市民連合クラブ（10月まで3人、11月から2人）	400,000	327,960	9,000	0	0	0	0	44,374	43,366	424,700	0
南あわじ市公明党（1人）	150,000	35,220	2,330	0	0	0	0	15,950	6,004	59,504	90,496
日本共産党（1人）	150,000	109,320	7,200	0	0	0	0	36,840	4,928	158,288	0
つなぐ（1人、11月結成）	50,000	35,220	0	10,000	0	0	0	0	2,978	48,198	1,802
志（1人）	25,000	0	0	0	0	0	0	19,900	6,578	26,478	0
計	2,575,000	1,748,513	93,023	95,153	0	0	0	118,859	279,347	2,334,895	299,817

議会運営委員会

- 山口県山陽小野田市議会**
政策提案委員会を設置し、議会全体の意見を一致させることで、より議会の提言力が増すよう努めていた。本市議会でも重要と感じた。
- 広島県東広島市議会**
市長部局が作成した目的別事業群説明書を市の総合計画を基

議会改革、予算決算の審査力向上に向けた取組をしている先進地を調査（6月30日～7月2日）

- に審査、整理し、市長部局への提言につなげていたことが参考になった。
- 広島県三原市議会**
常任委員会は市民の声を踏まえ、委員会で重要政策について議論を重ね、財源まで踏み込んだ提言を市長に行っていることは、本市議会も見習いたい。



▲三原市議会から説明を受けている様子

議会広報広聴常任委員会

- 神奈川県開成町議会**
広報紙からWebサイトに誘導し、議会活動を見せるという発想は情報発信ツールをうまく活用していると感じた。
- 神奈川県寒川町議会**
市民との意見交換・オープントークcafeを開催しており、議員や参加者がグループワークを通し、

広報改革、魅力ある議会だよりの編集や広報広聴の取組をしている先進地を調査（4月23日～25日）

- 楽しめているのが参考になった。
- 埼玉県寄居町議会**
寄居町議会だよりは毎号、多数の町民へインタビューをしており、フットワークの軽さに驚いた。議会だよりは議会と市民をつなぐ大切なツールであると改めて実感した。



▲開成町議会での意見交換の様子

総務文教常任委員会

- 大分県別府市**
デジタルの力を活用し市民サービスの向上、働き方改革などを目指すところは同じだった。本市もより良くなるようデジタル化を進めていただきたい。
- 福岡県嘉麻市**
本市も義務教育学校について議論すべきではないか。学校規

デジタルファースト、義務教育学校、部活動の地域移行、防災対策の先進地を調査（5月12日～14日）

- 模、校区など方針を決めた際は、迅速に住民に示してほしい。
- 福岡県宇美町**
宇美町では部活動の地域移行の取組はNPO法人が運営しており、保護者の負担の在り方などの課題が残っているのは、本市も同じである。

- 熊本県宇土市**
地域住民と協力し、地域にあった防災を考え、自主防災組織をより一層充実させることが必要であると感じた。



▲別府市議会での質疑応答の様子

産業厚生常任委員会

- 大阪府豊中市**
食品ロスやプラスチックごみを削減している店でエコ活動を伝えるステッカーを掲示する取組は、市民への啓発にもなる。子ども服のリユース事業も見習いたい。
- オムロン京都太陽株式会社**
障がい者の就労を戦力として

ごみの減量・リサイクル、障がい者雇用、海業推進の取組をしている先進地を調査（5月21日～23日）

- 捉え、設備や組織、意識の改革を通じて持続可能な雇用の仕組みを構築している姿勢は、学ぶ点が多い。
- 和歌山県太地町**
くじらを軸として、海水浴場、浮桟橋など整備事業が進んでいた。地域資源をどう生かしていくか幅広い視点が必要と感じた。



▲遊歩道を見学している様子

第134回 南あわじ市議会定例会日程（9月）

◆開会はずべて午前10時～

	会議日	会議内容（予定）
第1日	8月29日(金)	1. 議会広報広聴常任委員会、議会運営委員会調査報告 2. 条例案上程（説明、質疑、委員会付託） 3. 令和7年度南あわじ市一般会計補正予算案上程（説明、質疑、委員会付託） 4. 令和6年度南あわじ市一般会計、特別会計等決算認定案上程（説明、質疑、委員会付託） 5. その他の案件上程（説明、質疑、委員会付託）
第2日	9月8日(月)	1. 一般質問
第3日	9月9日(火)	1. 一般質問
第4日	9月10日(水)	1. 一般質問 2. 追加議案上程（説明、質疑、委員会付託）
予備日	9月11日(木)	
第5日	9月26日(金)	1. 総務文教・産業厚生常任委員会調査報告 2. 付託案件委員会審査報告（質疑、討論、表決） 3. 追加議案上程（説明、質疑、討論、表決）
委員会	9月19日(金)	総務文教常任委員会（付託案件の審査）
	9月22日(月)	産業厚生常任委員会（付託案件の審査）

※ 令和6年度決算は、決算審査特別委員会を設置し、審査を行います。審査の日程は、決算審査特別委員会設置後、9月12日(金)・16日(火)・17日(水)・18日(木)で調整を行う予定です。

第133回 南あわじ市議会臨時会日程（7月）

	日時	会議内容（予定）
第1日	7月31日(木) 午前10時	1. 議案上程（説明、質疑、委員会付託）
第2日	8月5日(火) 午前10時	1. 付託案件委員会審査報告（質疑、討論、表決）
委員会	7月31日(木) 本会議終了後	総務文教常任委員会（付託案件の審査）
	8月1日(金) リハーサル終了後	産業厚生常任委員会（付託案件の審査）

8月の委員会等日程

委員会	日時	場所	内容
議会運営委員会	8月22日(金) 午前10時	委員会室	9月定例会について
総務文教常任委員会	8月18日(月) 午前10時	委員会室	1. 所管事務調査 2. 事業評価
産業厚生常任委員会	8月19日(火) 午前10時	委員会室	1. 所管事務調査 2. 事業評価
議会広報広聴常任委員会	8月21日(木) 午前10時	委員会室	今後の行事予定等について
子ども議会	8月1日(金) 午前10時	議場	議員リハーサル
	8月6日(水) 午後2時	議場	小学生の代表が子ども議員として議員に質問・提案

愛染祭インタビュー！ 《6月30日 慈眼寺(福良)で開催》

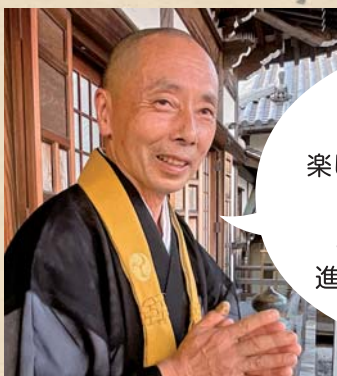
福良の人が親切だったので、
移住を決めた。
空き家を購入し、住んでいる。
今後、キャンプ場の仕事がしたいと
考えている。(古泉さん)



福良は山と海があって好き。
将来の夢は、考え中。
(荒川さん)



若い人が少なくなってきたが、
寂しい町よりも、にぎやかな町になるよう
楽しんでもらえればと、ミニコンサート、きもだめし、
スイカ割り、カラオケ大会などを計画している。
お寺の祭りではなく、福良の祭りとしていい方向に
進めばいいと思っている。(主催者である慈眼寺住職)



友達から聞いて親子で参加。
南あわじ市は、玉ねぎが甘くておいしい。
淡路バーガーもおいしい。
将来の夢は、ハンドメイド作家に
なりたい。(田中さん)



カラオケが趣味で去年も出演した。
週3回カラオケ喫茶に行く。
YouTube歌手の歌声を聞くことが
勉強になる。(芝さん)



南あわじ市は、自然豊かなところと
人と人の距離が近いところがいい。
将来の夢は、起業などしてお金持ちになりたい！
(淡路三原高校ボランティア同好会の堀川さん)

編集後記

暑さ厳しい日々が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。
今回の議会だよりは、皆さまの声を市政に活かしたいと議会報告会
での様子、また広報委員が市内に出かけ、愛染祭に参加されていた方々にインタビューをさ
せていただきました。ご協力いただきありがとうございました。

また、8月6日には議場で「子ども議会」を開催します。市内15の小学校の代表が「南あ
わじ市の将来について」質問します。次回の議会だよりで詳しくお知らせしますので、よろ
しくお願いします。
(吉田)

議会広報広聴 常任委員会

長江 和代
廣内 孝次
長船 吉博
北条志津子
吉田 良子
木場 徹